

ゴールデンウィークも終わり、夏休みが待ち遠しい今日この頃。休暇のプランを練っているときがいちばん楽しいときかもしれません。



さて、今月は女性に人気のある商品を揃えてみました。自分で買うもよし、プレゼントしてもらふもよし、まずは試しに買ってみては？

LIFE WITH INTERNET

通販生活編⑨ オンラインショッピングの達人 愚留目 都亜

【買ってうれしい、あげて喜ばれる インターネット通販女性編】

先月号で、3月中旬から旅行に行くことができました。結局、3月15日出国、4月8日帰国の23泊25日という長い旅行になりました。これまでハワイ4島18泊20日というのがわたしたち夫婦の一番長い旅行だったのですが、その記録を簡単に超えてしまいました。

今回の旅行の一番の話題としては、なんとと言っても「狂牛病」です。ニューヨーク滞後にロンドンに渡ったのですが、着いた翌日のテレビニュースで首相の発言が報じられ、その後は狂牛病がテレビや新聞のトップ記事になるという日が続きました。当然ながらイギリスは当事国のわけで、ほかの欧州各国が輸入の差し止め措置を講じた報道などについては、多少不満気な雰囲気は漂っていました。

新聞に載っていたイギリスからの輸出国に関する記事では、日本はアメリカとともに、衛生上の理由でイギリスの牛は輸入していないとのこと。要するに、イギリスにいる間に牛肉を食べるのを控えておけば問題ないかなあと、わたしたちは考えました。

ロンドンには、前から行きたいと思っていたイタリア料理のお店があり、過去2回ほど、予約が取れずにあきらめた経験があ

るので、今回こそは、とロンドンに着いてすぐに予約をいれました。当日お店で食前酒を飲みながらメニューをながめていると、「羊の脳味噌」料理が載っていました。結局妻がこれを注文し、私は豚料理を注文しました。狂牛病というくらいだから牛肉を避けねばいよいよねという単純な知識しか持っていなかったのです。

日本に帰国したあとに、日本の新聞記事やテレビの特集番組を見て、狂牛病がもともとは羊の病気だったことを知りました。ということは、羊の脳味噌を食べたわたしたち夫婦はどうなるのでしょうか？ 10年後も元気でいられることを祈るのみです。

今回の旅行はいろいろ変わったものを見たり、体験したりしました。ニューヨークに着いてすぐの日曜日がセント・パトリックデーで、その前日には5番街でパレードが行われました。ワシントンD.C.滞在中に、生中継でオスカーの発表も見られました。また、航空宇宙博物館のエノラゲイやFBI、印刷局での紙幣の印刷風景、ホロコーストメモリアル、ホワイトハウス、桜並木などの見学も印象的でした。

さて、今月は女性用の品物を4品集めてみました。女性へのプレゼント品、化粧品、

洋服などを購入してみます。

1番目の品物は女性へのプレゼントとして最もオーソドックスな「花」です。だれでも一度は宣伝を見たことがあると思いますが、「花キュービット」という花の配達サービスをWWWから注文してみます。

2番目の品物はトルコ石の付いたシルバークラスピアスです。アメリカ南西部のインディアンジュエリーから選ぶことにしました。こういったアクセサリは、女性が自分自身で購入しても、男性からのプレゼントとしてもよいでしょう。

3番目の品物は化粧品です。海外有名ブランドの口紅を何本か購入してみます。今回は、海外からの直接輸入ではなく、国内の並行輸入業者からの購入です。

4番目の品物は洋服です。アメリカを本拠地とするデザイナーのお店から、シャツを1枚購入します。WWWでのショッピングで思いどおりの色、スタイルのシャツが買えるでしょうか。

最後に後日談を1つ。3月号で注文した「ビールの醸造キット」ですが、その後、なんと商品が届きました。いろいろありましたが、この夏はインプレスオリジナルビールが飲めそうです。

先月の成果

商品番号

20
番

ビール醸造キット

URL <http://www.shopaustralia.com.au/gday/>

な、なんと、3月号で注文したオーストラリアの「ビール醸造キット」が、3月19日に配達されました。実際に注文したのは去年の12月初旬のことですから、3か月以上かかったこととなります。当初の申し込み時は、商品がUS15ドルで船便の送料がUS14ドルの計US29ドル、円換算で約3,100円でした。送付が遅れたことのお詫びとして実際の配達は航空便となりました。カードへの請求は、送料込みで39豪（オーストラリア）ドル、円換算で3212円でした。



商品番号

30
番

イタリアのオーダーメイドシャツ

URL <http://www.ats.it/stefanelli/index.html>

先月の1つ目の商品は、イタリア製のイーザーオーダーのYシャツでした。3月8日に注文し、約3週間後の3月27日にFedexで配達されました。当初の請求はUSドル建てでしたが、日本に対してはイタリアリラでの請求になるとのことです。代金は商品150,000リラ、Fedex送料

94,000リラの合計244,000リラです。カード決済はまだですが、100リラ=約7.2円と考えると17,568円となります。なおこれとは別に、関税1,600円、消費税500円、特別手数料625円の合計2,725円がFedexから請求されました。結局20,000円強かかったこととなります。



商品番号

31
番



先月の2番目の商品は、メトロポリタン美術館のミュージアムショップで売られているネクタイでした。注文したのは3月7日で、18日に手紙が届きました。それには、現在在庫切れであることと、入荷次第送ること、また30日以内に送れないときは連絡するとのことが書いてありました。結局約1か月後にまた郵便が届き、まだ入荷していないと書かれていたため、今回は注文をキャンセルすることにし、その旨を郵便で知らせました。

ミュージアムグッズのネクタイ

URL <http://www.metmuseum.org/>

商品番号

32
番

フランス製のソックス

URL <http://www.achile.com/>

先月の3番目の商品はフランス製のソックスでした。3月7日に注文したのですが、4月になっても音沙汰がないので、問い合わせのメールを出すと、注文が届いてないとのこと。4月11日に再度注文すると翌日にメールが届き、注文した4足のうち2足が品切れとのこと。とにかく商品を送るように依頼すると、4月15日にUPSで配達されました。結局、2足分の代金

US30ドルにUPSの送料US39ドルが加えられました。どう考えても、少ない数の注文では送料が高くつき、お得とは言えないようです。



商品番号

33
番

タイツとストッキング

URL <http://www.pantyhose.com/access.html>

先月の最後の商品はストッキングでした。お店の名前は「L'eggs」で、注文したのはストッキング8足でした。3月7日に注文し、その5日後の3月12日にAir Mailで届きました。請求額は、商品がUS25.84ドルで、それに送料としてUS17.00ドルが加えられました。円に換算すると合計で約4,600円となり、1足あたり約580円ということになります。



商品番号

34番 バラの花束

URL <http://www.toppan.co.jp/jftd/>



▲ トップページで「お花のご注文」を選ぶと、このページになる。全部で19種類の商品がリストされている。

今月の最初の商品は「花」です。この連載の担当編集者であるM女史の誕生日が近いとのことなので、いつも原稿の提出が遅くて迷惑をかけている私としては、この機に罪滅ぼしを兼ねて花を贈ることを考えました。

ここで紹介するのは「日本生花通信配達協会 (JFTD)」の「花キュービット」です。花キュービットでは、国内のみならず、海外への配達も可能です。支払いがクレジットカードのみで、配達日の指定やメッセージを付けることもできます。母の日が近いこともあり、母の日用の花が11種類リス

◀ これが「花キュービット」のトップページ。今回WWWを見たときは、母の日特集をしてた。



トされていました。このほかに8種類あり、今回はその中からバラの花束を選びました。

花に関する海外のWWWの1つとして、「Flower Link」(<http://www.flowerlink.com/>)を紹介しておきます。Flower Linkは提携しているアメリカ、カナダの花屋を網羅したサイトで、特定の場所の花屋を検索し、そこから配達してもらうことが可能です。このページには、花の配達システムとしていくつか紹介されていますが、その中の1つである「FTD」(<http://www.flowerlink.com/html/ftd/ftd.html>)を利用すると世界中に花を送れます。

◀ 先のページで商品を選び、「オンライン注文用紙へ」進むとこのページになる。必要事項を記入後に「注文確認」を押すと、注文内容が記入された「申込書」が出てくる。そこで「注文」を押すと注文完了となる。



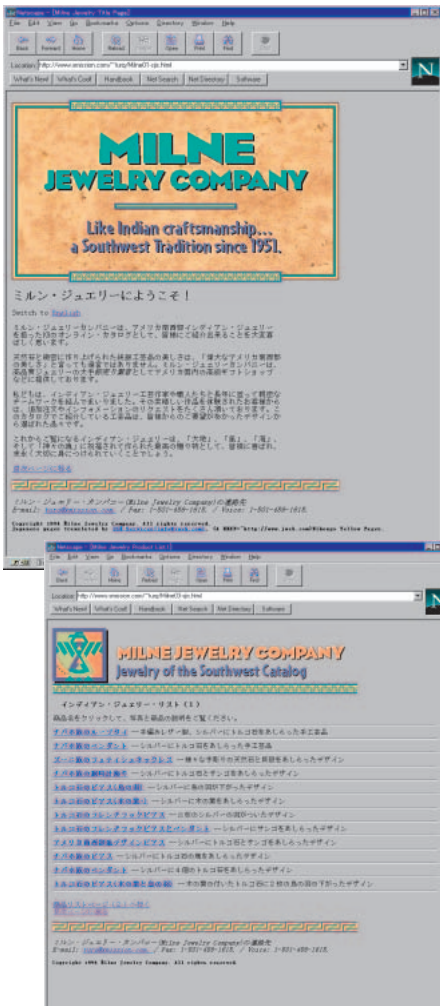
▲ これがFlower Link内のFTDインターナショナルのトップページ。ここにリストされている国なら、花を送ることができる。

URL <http://www.flowerlink.com/html/ftd/ftd.html>

商品番号

35番 シルバージュエリー

URL <http://www.xmission.com/~turq/Milne01-sjis.html>



◀ 「Milne Jewelry Company」の日本語のトップページ。このページより下のすべてのページが日本語で用意されている。



▲ 各商品のページも用意されている。ピアス、ブレスレット、ネックレスと種類も豊富。

◀ トップページで「目次ページに移る」を選び、さらに「ジュエリーカタログ」を選ぶと、この商品名のリストが表示される。

今月の2つ目の商品はシルバージュエリーです。ここで紹介するのは、アメリカ、ユタ州の「Xmission」というサービスプロバイダーに出店しているお店です。お店の名前は「Milne Jewelry Company (ミルン・ジュエリー・カンパニー)」とい、アメリカ南西部のインディアンジュエリーを扱っています。トップページによると、このお店はアメリカ国内のギフトショップなど商品に卸している大手卸売業者とのことです。WWWを使って小売りを始めたといったところでしょうか。

この店のWWWの特徴は、英語のペー

ジだけでなく、日本語によるページも用意されているという点です。トップページに「Japanese Version」というリンクが用意されていて、そこを押すと日本語のトップページに移ります。

日本語が用意されているだけあって、日本からの注文も問題なくできそうです。送料、手数料は最初の1つ目の商品がUS20ドルで、2つ目以降は1つにつきUS8ドルです。保険付きの航空郵便小包による送付で、約4～6週間かかるとのことです。今回は、トルコ石のピアスを注文しました。



▲ 注文はこの「オーダーフォーム」に記入する。「Send」ボタンを押すとE-mailとして送られ、最後に注文受け付けの確認画面が表示される。

商品番号

36番 ブランド化粧品

URL <http://www.yk.rim.or.jp/~liquors/>



▲これが「Discount Mall エムズ」のトップページ。お酒のディスカウントストア「リカーズ」と、輸入グッズの「エムズ」などがリストされている。

▶ トップページで「インポートのエムズ」を押しすとこのページとなる。4種類の口紅のほか、香水なども用意されている。残念ながら、画像が表示されていないところもあった。

今月の3番目の商品はブランド物の化粧品です。ここで紹介するのは、埼玉県上福岡の丸昭商店がリムネット上にあげているホームページです。ホームページの名前は「Discount Mall エムズ」で、そこにお酒のディスカウントストアの「酒屋のリカーズ」や輸入品のディスカウントストアの「インポートのエムズ」などのページが用意されています。今回はこの「インポートのエムズ」のページで化粧品を買ってみようというわけです。

エムズのページには、口紅やオードトワレなどが20種以上用意されています。口紅は全部で4メーカーで、シャネル、イヴサンローラン、ディオール、M.A.C.の製品が



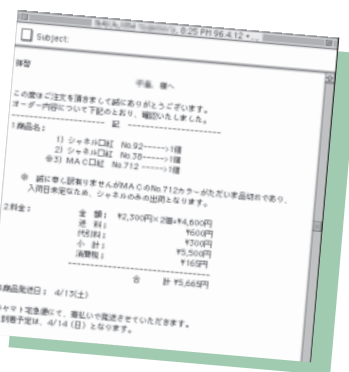
リストされています。各製品何色が在庫が用意されていますが、もし希望するカラーがない場合は取り寄せてもらえるそうです。扱っているカラーが一番豊富なのはM.A.C.で、全部で40種類ほどありました。価格は税金、送料別で1本2,200円から2,400円となっています。

各製品の写真イメージが表示されるので、製品を確認することも可能です。ただ、オードトワレのうち数製品の写真イメージが表示されなかった点と、送料の一覧表が見られなかった点が、ちょっと残念でした。

今回購入したのは口紅です。編集部内の3人の女性が、口紅を各自1本ずつ買うことにしました。



▲注文はこの注文書を用いる。送料一覧表のページが空で確認できなかったため、小計欄以降をプランクのままにして送信した。



▲申し込みの翌日に確認のメールが届く。注文した商品の在庫の有無と最終的な送料を知らせてくれる。

商品番号

37番 婦人ブラウス

URL <http://www.productnet.com/>

今月の最後の商品は洋服です。ここで紹介するお店は「Product」という名前のお店です。このお店のデザイナーは、韓国のソウル生まれのElaine Kimという女性で、ブランド自体は1992年に作られたものです。直営店がロスアンジェルスとニューヨークにあり、そのほかデパートへの出店や小売店への卸しをしています。日本でも伊勢丹の中に出店しているとのこと。

フレームを使ったホームページは、なかなかおしゃれな構成です。ファッション雑誌のような作りで、値段が前面に押し出さ

れた通常のカatalogとはちょっと雰囲気違います。値段などが知りたいときは、モデルの着ている洋服をマウスでクリックします。そうすると値段やサイズ、素材などが表示されます。

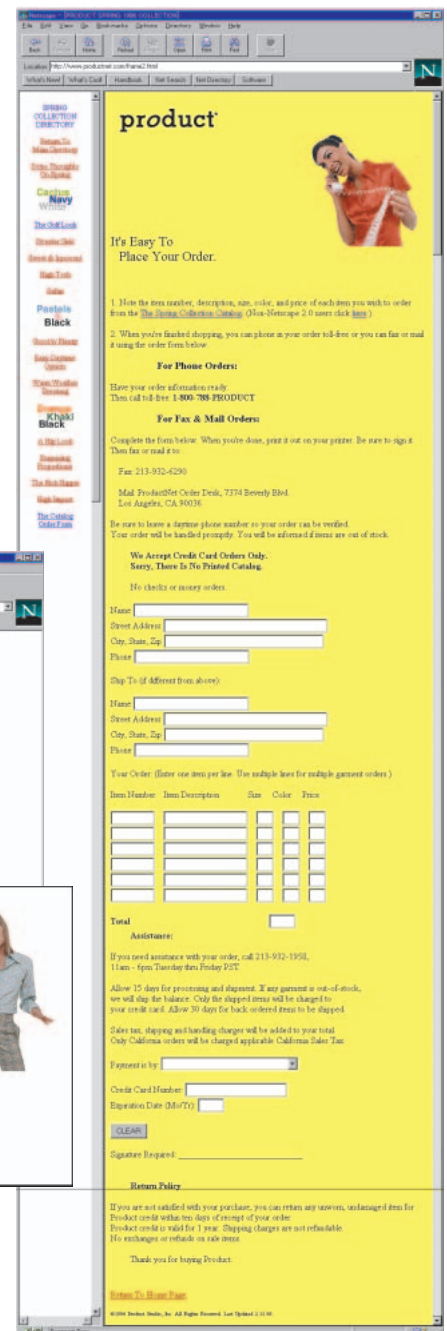
注文はオンラインではできないので、電話、ファックス、郵便ですることになります。今回は、シャツを1枚購入することにし、ファックスを使って注文しました。なお、送料がいくらかかるかは、注文段階ではわかりません。

▶ 「Product」のトップページ。フレームを使ったWWWとなっている。今回はこの中の「The Spring '96 Collection」を選択する。



▲ 先のページで「Cactus, Navy, White」を選択すると、この画面となる。ここで、右のフレームの写真の上半身の部分をマウスでクリックすると、シャツに関する製品情報が表示される。

▲ これが「Spring Collection」のページ。左のフレームに表示される商品ページのインデックスを選べると、右のフレームにイメージが表示される。



▲ 注文用のフォームが用意されているが、オンラインでの注文はできない。電話、ファックス、郵便での注文となる。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp